

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		担い手育成農地集積部会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	担い手育成農地集積部会運営事業			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治
	基本事業	30	後継者の育成			所属班	農業整備班	(内線)	1163
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	
		1	6	1	12	10280		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業の関連ソフト事業である。 ・上記県営事業を実施した結果、合志地区内で設定した22戸の担い手農家の経営耕地面積が事業完了までに集積増加率が20%を越えることで、農家負担借入金の6分の5が無利子になる事業 県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業の関連ソフト事業として平成10年より始まった。 ・平成13年度にハード事業の受益地見直しを行った際に、担い手として設定している22戸の農家の農地が一部地区外になったため、農地集積計画の見直しを行った。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・年度ごとに担い手の農地集積が進行しているかを確認、会議を開いて進行管理行う。
【主な予算費目】	・6-12-12-1 報償費、6-1-12-11 費用弁償、6-1-12-11 需用費
【意見や要望】	・堆肥舎建設なども重なり、農地集積が進まないという担い手の一部から話がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
事務の内容と同じ。	事務の内容と同じ。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⇒ア:進行管理表の作成要する時間 h
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	担い手22戸
⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	⇒ア:担い手農家数 戸
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農地集積が進む。
⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	⇒ア:農地集積面積 円
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 農地集積面積が増加することで農家負担借入金の6/5が無利子になるため	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア h									
⑤ 対象指標	ア 戸		22							
⑥ 成果指標	ア 円									
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	450						
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件 費	一般財源	千円	450	302	246	208	206	200	200
		(A) 事業費計	千円	900	302	246	208	206	200	200
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円							
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	220	220	220	170	220	220	220		
(B)人件費計	千円	873	880	876	677	876	876	876		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,773	1,182	1,122	885	1,082	1,076	1,076		

総トータルコスト	全体計画
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	担い手育成農地集積部会運営事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	H19年度に達成している		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	H19年度に達成している		
効率性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	・平成19年度までの事業であり、農地集積を図る余地がある。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	・特に削減する要素が見当たらない。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	・担い手農家として22戸を設定して進めている事業である。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策